

# 「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」 8月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【栃木県の作柄概況】

栃木県における令和元年産水稻の8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」と見込まれる。

また、作柄表示地帯別の作柄は、全て「平年並み」と見込まれる。

- 1 田植最盛期は、苗の生育がおおむね順調であったものの、降雨が少なかったことから平年に比べ2日遅くなった。
- 2 出穂最盛期は、7月上中旬が低温・日照不足で推移したことから、平年に比べ3日遅くなった。
- 3 全もみ数は、穂数はやや多く、1穂当たりもみ数はやや少ないと見込まれることから「平年並み」と見込まれる。
- 4 登熟は、全もみ数が平年並みに確保され、7月下旬以降、高温・多照に推移したことから「平年並み」と見込まれる。

図 作柄表示地帯別の作柄の良否  
(8月15日現在)

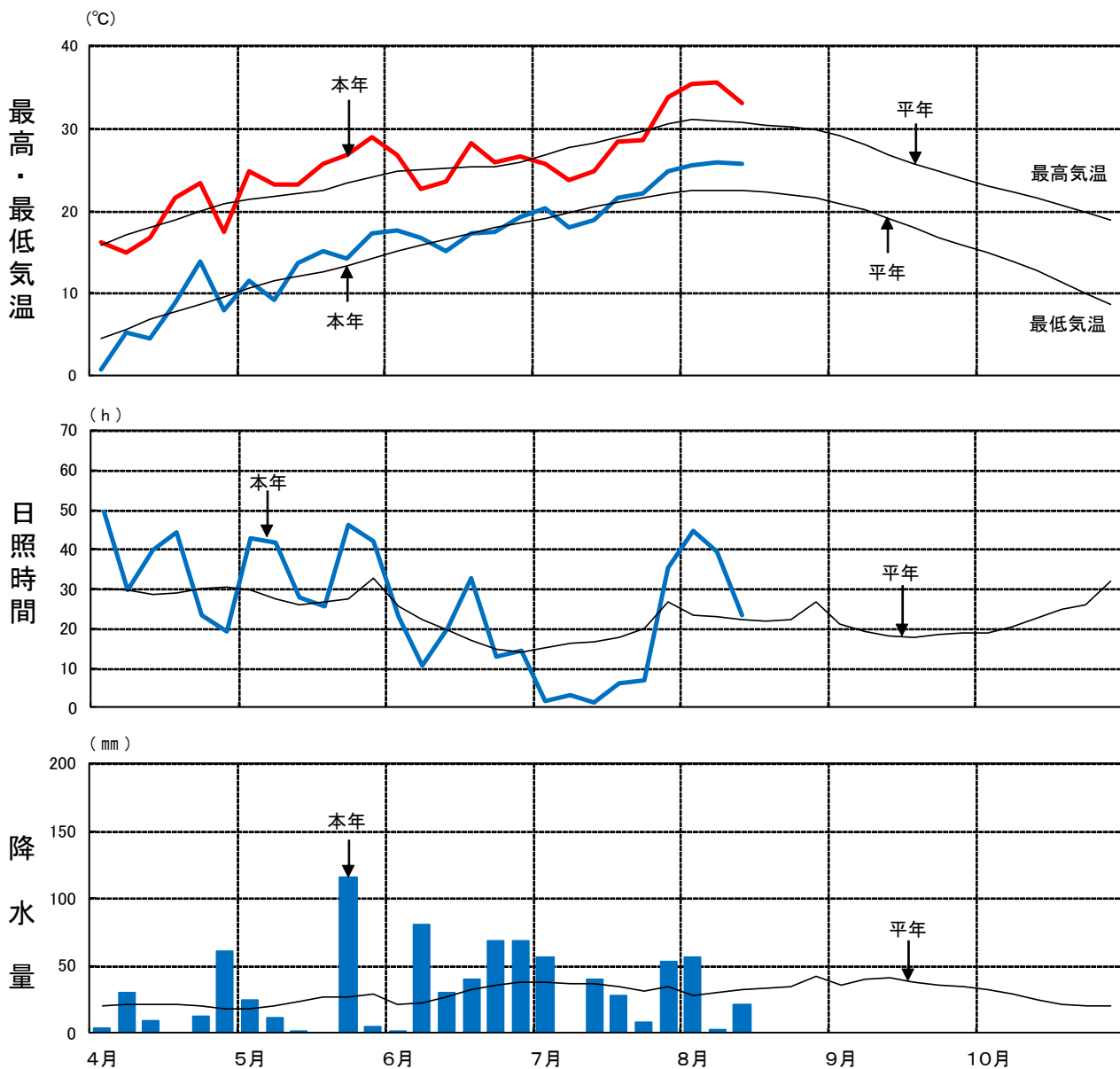


注：本図で用いた作柄の良否の表示区分は、「平年並み」が対平年比101～99%に相当する。

○ この資料は、「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」8月30日公表の補足資料として作成したものです。  
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [http://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和元年 半旬別気象（宇都宮）



資料：気象庁



注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
なお、( )内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 栃木県拠点 統計チーム  
 電話：028-633-3106  
 F A X：028-633-9271